

生殖医療対人援助研究会 (TOFF)

Think Our Family & Future

TOFF (Think Our Family & Future) とは？

不妊治療の現場が抱える諸問題や課題の解決に向けて、治療関係者の連携と協働により、「子どもの誕生を願い不妊治療を選択する当事者カップル」への最善の援助を目指します。会では、各自の専門性を活かしたチームが生活する当事者たちを支え、共に新しい生殖医療の治療共同体を創造することが本研究会の目的です。

第一回 TOFFセミナー

日時：6月21日（木） 時間：14：00～17：00

テーマ： 第一部「不妊ストレスってなんだろう？」
第二部「セカンドオピニオンを受けるために」

参加費： 無 料 < 関心のある方はどなたでも参加できます >

ファシリテーター： 荒木晃子（心理士）、藤田圭以子（医師）、
杉野寿子（看護師）、大村昌弘（心理士）

場 所： 立命館大学 立命館アカデミア@大阪（淀屋橋）
〒541-0041 大阪市中央区北浜3-1-1 8島ビル5・7F
淀屋橋駅 14 番出口 上がる

セミナーの第一部では、ファシリテーター4名から「参加者の方へ向けたメッセージ」と「不妊に伴うストレスに関する説明やその解決に向けた対処法」などに関するトークがあります。

第二部では、当事者の方々の疑問や質問にこたえながら、4人の専門性を活かした交流の場を提供いたします。講演形式にとどまらない「直接の相互対話」によって、互いに抱える課題解決の糸口を協働で目指しましょう。

参加申し込み・お問い合わせ：TOFF@hotmail.co.jp まで

<研究者プロフィール>

荒木晃子

立命館大学大学院応用人間科学研究科対人援助学領域修士課程修了

修士論文「不妊カウンセリングの固有な機能と必要性 ～不妊治療の対人援助に関する研究～」

不妊医療センター越田クリニック退職後、

現在、島根県松江市にある不妊医療施設 内田クリニック心理カウンセラー

日本看護協会神戸研修センター認定看護師教育課程「不妊看護」(2005 年度「不妊看護カウンセリング技法」、2006 年度「不妊看護援助論Ⅱ」)講師

日本生殖医学会所属、日本不妊カウンセリング学会所属、日本人間性心理学会所属

<メッセージ>

「不妊治療を選択する当事者」は、生活する環境や自分自身に、既に不妊ストレスが生じています。不妊の治療過程は複雑です。治療進行に伴い、ストレスは増加傾向に向かいます。また、治療にはカップルの「選択と決断」が必要であり、そのためにはカップル間の良好なコミュニケーションが不可欠です。

「不妊治療では扱わない」それらの課題の解決を、「当事者であり援助者である自分の専門性」を活かして、参加する皆さんと共に目指したいと考えます。

藤田圭以子

関西医科大学卒、京都大学産婦人科入局

北野病院産婦人科から、不妊医療センター越田クリニックを経て

現在、関西電力病院産婦人科勤務。不妊外来担当。

日本生殖医学会所属

<メッセージ>

不妊治療を担当していて、目の前の患者さん方はどうしたら妊娠するか・・・ということばかり考えていました。なぜなら、妊娠することで、問題はすべて解決すると思っていたからです。しかし、現実には不妊治療を進めることで、患者さんたちを苦しめていたように感じる時が多々ありました。確かに、不妊治療は辛く、ストレスも多いかもしれません。当事者の方々、医療者の方々から・・・私は聴きたいです。どんな医療が必要ですか・・・？

杉野寿子

藍野学院短期大学看護学科卒業

北野病院眼科病棟勤務を経て

不妊医療センター越田クリニック 8年間勤務

日本看護協会「不妊看護」認定看護師教育課程終了。「不妊看護」認定看護師取得

日本不妊カウンセリング学会所属「不妊カウンセラー認定」、「生殖医療コーディネーター認定」

日本生殖医学会所属

<メッセージ>

不妊治療の技術は日々進歩しています。「治療を受けたら子どもが授かる」と本当に熱心に治療に励まれるご夫婦がいらっしゃいます。残念ながらその技術をもってしても、必ず授かるわけではありません。耳を澄ませてみてください。検査や治療に心と身体はついていけていますか？不妊治療との向き合い方も1組1組個性があってもいいのではないのでしょうか？インフォームド・ペイシエント(情報を手に入れた上で選択、自ら治療に決定権をもつ対象)になってみませんか。治療の主役はご夫婦です。ご夫婦らしく、お二人のペースで治療と向き合えますようお手伝いしていきたいと思っています。

大村昌弘

龍谷大学文学部哲学科教育学専攻卒業

龍谷大学大学院文学部哲学科教育学専攻教育心理学領域修士課程中途退学

同大学文学部哲学科教育学専攻副手、精神科岡田医院カウンセラーを経て、

現在島根県松江市にある不妊医療施設内田クリニック心理カウンセラー

日本家族カウンセリング協会所属

<メッセージ>

不妊治療の現場で、治療中のカップルと関わる中、「精神的・身体的に辛くなったり、悲しくなったりする時が多々ある」という訴えをよく耳にします。“子どもの誕生を願い”当然のように努力をするカップルの声です。“夫婦で楽しく過ごす時間”が“子どもを授かるため”に失われてきていませんか？私は「カップル関係と不妊ストレスとの関連性」に男性の視点で注目しています。互いの苦しみを知り、“女性の苦悩”と“男性の辛さ”の違いを前提に、決してひとりで抱える必要はないことを知ってください。女性・男性双方の当事者の方々と一緒に考えていきたいです。「あなたは、ひとりで抱え込んでいませんか？」

生殖医療対人援助研究会（TOFF）

Think Our Family & Future

TOFF(Think Our Family & Future)とは？

目的： いま、生殖医療（主に不妊治療）が提起する諸問題は、社会に大きな波紋を投げかけています。医療現場では、不妊治療を選択した当事者カップルとディレンマを抱える医療者たち（医師・看護師・培養士・スタッフ）が、その困惑の中で不妊治療に臨んでいるのが実際です。TOFF研究会では、現役の医療者たち、心理士、当事者（個人・カップル・その家族）等全ての関係者の視点を視座に、それぞれに必要な援助を探求し、各自の専門性を活かした支援を統合し体系化することを目指します。不妊治療の現場で発生する諸問題・抱える課題の解決に向けて、連携と協働により「子どもの誕生を願い不妊治療を選択する当事者カップル」への最善の援助を模索し、新しい生殖医療のひとつのモデルを創造することが本研究会の目的です。

テーマ： 不妊カウンセリングを含む、対話による生殖医療の実践。当事者・医療者・心理士の協働する生殖医療システムの構築。

TOFF 活動内容

定例会： 当事者からの意見や提示された問題、医療者の直面するディレンマ、そして実際の医療現場で起こっている諸問題、更には生殖補助医療の抱える問題点と今後の課題の全てに対し、「提起された課題」として、当事者・医療者・心理士の協働で検討しその解決を目指す。毎月一回開催予定。

場所： 立命館大学 立命館アカデメイア@大阪（淀屋橋）

〒541-0041 大阪府中央区北浜3-1-1 8島ビル5・7F

06-6201-3610 （代表）

研修会： 生殖医療の対人援助を体系化し、「不妊カウンセリングの方法と実際」の学習会を開催します。会では、援助者の皆様と共にその実践力を培い、獲得するプログラムを企画予定。

交流会： 当事者の皆さんが集い、様々な情報交換ができる場を提供いたします。他にも、所属を超え「生殖医療のよりよいあり方を求める医療者」のための意見交換の場を設けます。開催される全ての交流会では、講演形式にとどまらない「直接の相互対話」によって、互いに抱える課題解決の糸口を協働で目指しましょう。

公開シンポジウム

： 不妊治療に携わる医師、看護師、培養士、不妊カウンセラーをパネリストに、「当事者の視点を通した『不妊治療の抱える諸問題とその解決』」（仮題）をテーマにシンポジウムを開催予定。（時期は年度後半）

TOFF コンセプト

TOFF は生殖医療に関わる、全ての皆様に解放された研究会です。研究会は当事者・心理士・医師・看護師・培養士で構成されます。各自の所属を超え、個の尊重とプライバシーの遵守、また相互援助の協働と関係性の確立の上に、生殖医療が提起する社会問題を含む様々な課題に取り組みます。入会は、「不妊治療前・中・後の当事者またはカップル、もしくはその家族」。心理士・カウンセラー・相談員等の職務にあり、「不妊心理の援助」と「医療者との協働」を目指す心理職者。医師・看護師・培養士等の生殖医療関係者や、「対話による医療」に関心をお持ちの医療者および研究者の参加も歓迎します。

研究会では、中心に「医療の主体である当事者カップル」が位置し、その「選択と決定」を医師・看護師・培養士・心理士が協働し、各自の専門能力を統合した援助で支える医療モデル共同体を形成します。参加者の専門性が反映し統合された「生殖医療における対人援助」を探求し、現行の医療システム導入を目標とします。参加者は、それぞれの専門領域で「援助を必要とする」もしくは「必要な援助をする」ことを課題に、相互理解と連携に基づく新しい医療モデル構想の実現を共に目指します。

代 表： 荒木晃子（心理士）

共同研究者： 藤田圭以子（医師）・杉野寿子（看護師）・大村昌弘（心理士）

内田昭弘（医師）・永島百合子（看護師）・市原次郎（医師）

入会申し込み・お問い合わせ：TOFF@hotmail.co.jp 荒木まで